

令和6年度 第3回 播磨町子ども・子育て会議
議事概要

日時	令和6年(2024年)12月4日(水) 10:00~11:30
場所	播磨町役場第2庁舎3階 会議室1
出席者	播磨町子ども・子育て会議委員 18名 事務局：9名
協議事項	(1)目標事業量と確保方策（令和6年度進捗状況について）の修正について (2)「(仮称)播磨町こども計画」にかかる素案の検討について (3)その他

1. 開会

2. 町長あいさつ

3. 委嘱

4. 自己紹介

5. 会長・副会長選出

6. 会長あいさつ

7. 議事

(1) 目標事業量と確保方策（令和6年度進捗状況について）の修正について

会長

早速ですが議事の1点目、目標事業量と確保方策（令和6年度進捗状況について）の修正について、事務局から報告及び説明をお願いいたします。

事務局

【資料に基づき説明】

会長

今のご説明いただいたところで、ご意見等はございますか。

ないようですので、修正点をお認めいただくということでよろしくをお願いいたします。

では続きまして、議事の2点目、「(仮称)播磨町こども計画」にかかる素案の検討について、事務局から報告及び説明をお願いいたします。

(2)「(仮称) 播磨町こども計画」にかかる素案の検討について

事務局

【資料に基づき説明】

会長

ありがとうございました。今回、資料がたくさんありますが、ご意見・ご質問があればお願いします。

124 ページに地域子ども子育て支援事業一覧がありますが、表と記述が⑨以降ずれてきています。

事務局

表の⑨妊婦等包括的支援が 129 ページの⑧の一部になっているのでずれてしまっています。一覧の方を修正いたします。

委員

102 ページの不登校について、全国的に増加傾向にあります。播磨町では必ずしも増えていません。ただ報道で不登校が過去最大で問題だと言われ、それが学校に行かないことを否定されているように聞こえてしまい、心を痛めている保護者や子どもが多くいます。

2で「自身や自尊感情を回復」とありますが、「回復」より「高める」のほうがいいと思います。ただ、このことが書かれていることはいいことだと思います。

109 ページの4の書き方だとスポーツだけになってしまうので、「地域スポーツ・文化芸術創造活動の推進」というような形にして、文化芸術活動もここに入れていただきたいです。NPO法人「スポーツクラブ 21 はりま」以外にも、公民館などで支援しているところがありますので、ほかにもあることが分かるように構成していただきたいと思います。

部活の地域移行について、播磨町でも計画を立てていますので、中学校の部活も子育ての一環であることをここに含めていただければと思います。

文章の中に「こども」と「子ども」表記について、ブレが散見されますので、令和4年6月15日に表記についての通知があったと思いますが、それに準じて、支障がない限りは「こども」になると思います。また長期基本計画でも「こども」の扱いについて触れていると耳にしたので、調べていただきたいと思います。

事務局

修正案にて表記させていただきたいと思います。「こども」の表記についても、調べて修正させていただきます。

委員

109 ページのところの若者の声で、「昔は子ども会があったが、今は子どもが忙しく行事等に参加できない」とあり、また43ページの「親同士のつながりについて」も子ども会に関連する話題がありますが、播磨町内では子ども会は機能しているのでしょうか。地域によっては子どもから

大人になってもどこかの会に参加しており、小さいときから地域のつながりがあれば、周りの人と支え合いながら暮らせるまちになると思います。

事務局

子ども会に限らず、自治会で活動される方は減少している状況にあります。これではいけないと思い、播磨町は子育て家庭の転入が増えているので、元々いる方とつながりが持てるような活動が必要だと思っています。

昔は自治会に付属組織として子ども会があったが、最近では減ってきています。

委員

全国的に少子化や担い手不足、つながりを求めないなどの問題がありますが、子ども会が充実していると魅力的なまちづくりにつながるのではと思いました。

委員

子ども会は土日にイベントがありますが、土日は休みたいと考える保護者が増えてきています。子ども会に参加して、子どもを地域とつなげようとしても、フルタイムで働いていると負担に感じてしまうので、そこを改善できるものがあればいいと思います。

事務局

今回、アンケート調査以外に団体ヒアリングと子育てをおこなっている若者からもヒアリングをおこなったところ、フルタイムで働いていると地域の活動に参加する機会が時間的にも体力的にも厳しいが、必要性は感じているとのことでした。そのような人たちも巻き込んでいくような活動ができないと、その方々が退職された後に新たに地域の活動に参加することは難しいのではないかと思います。

委員

小学校、中学校をはじめ幼稚園、保育所でも子どもの意見はあると思いますが、その意見を上げてきて、大人たちが協議することも一つの理想ではありますので、そのような生の子どもの声を拾い上げる機会があればと思いました。

事務局

小学校、中学校に出向いて直接意見を聞く企画をしていたのですが、調整がつかず今回は断念しました。来年度以降、こどもの権利条例の作成に向けて、直接学校に出向き、直接声を聞く仕組みを教育委員会や現場の先生方と調整して進めているところです。詳細については改めて報告させていただきたいと思います。

委員

一つ一つの項目を見せていただきましたが、いろいろな視点からいろいろなサポートをしていただいでいるのが分かりました。ただ実際に支援が必要な人に届いているか、町民がまずどこに

相談したらいいか分かるものが、どのようにして出来上がるのかが心配です。

事務局

今回のアンケートでもホームページよりも口コミやインターネットからの情報の取得が多く、団体ヒアリングでも情報がなかなか入ってこないという意見があり、町としての発信力の弱さを指摘されています。今後、子どもに特化したページやインスタグラムでの発信等の必要性を感じているところです。

支援が必要な人はなかなか相談に来てくれず、相談に来たときにはどうしようもなくなっていることもあるため、そうなる前に少しでも届くようにしたいので、いろいろな方と連携しながら相談しやすいつながりをつくる必要があると考えております。

事務局

行政のPRについては私たちも反省しているところです。見ていただいたら分かるように多くの事業や施策に取り組んでいますが、必要なところに届いていないことは非常に反省すべきところだと思います。LINEなどのいろいろな媒体を活用して情報をアウトプットしたり、毎月の広報紙や子育て世帯向けに年4回のタブロイド判を発行したりしています。タブロイド判では子育てについてのことを分かりやすく広報させていただいています。必要なところに必要な情報が届くことが一番大切だと思うので、そこは来年度、小学校、中学校に実際出向き、我々の施策や事業、想いを子どもたちに直接伝え、それを通じて親御さんにも伝わっていけばと思います。また去年度から小学生議会や中学生議会を行っており、それは学校代表なので、全ての子どもとはなりません、実際に子どもたちに議場に来てもらい、こども議会としていろいろ考えを発言していただいています。それに対して真摯にお答えし、具体的に施策としてつなげていけたらと思います。

委員

コープでもいろいろな媒体で宣伝をしてきましたが、お金をかけてもなかなか難しく、播磨町は狭いエリアなのでデジタル媒体よりも新聞や回覧板のほうが効果は高いのではと思いました。今回のアンケート結果で一番見ているものに力を入れられたら、コストもかからずいいのではないかと感じました。

事務局

今、保育施設の園長先生にお願いをして、保護者に情報発信できる仕組みづくりをおこなっています。また小学校、中学校にもお願いすることがあるのですが、確かにそこでの浸透度が高いと感じています。

会長

ありがとうございました。まだまだご意見を頂戴したいところですが、会議の予定時刻が迫っています。今回の資料は本当に時間と労力がかかって作っていただいているのが分かるものでした。ありがとうございました。

引き続き、子ども子育て会議で検討を重ねますので、次回以降も委員の皆様からより多くのご意見をいただきたいと思います。

それでは（３）その他について事務局お願いします。

（３）その他

８．閉会